

あおり未来ミーティング（ワークショップ形式）の活用について

■あおり未来ミーティング（ワークショップ形式）の活用について

あおり未来ミーティングは、市民ニーズや地域の課題を把握し、市政運営の参考とするとともに、みんなで未来を育てるまちに向けてみんなで対話を深めることを目的として、直接対話形式及びワークショップ形式で開催している。

中でも、ワークショップ形式は、参加者一人ひとりが積極的に意見を出し合い、自分とは異なる考え方や価値観に触れながら対話を重ねることで、個人では生み出せない未来志向の新たなアイデアやより良い解決策を提案していただくことが期待できる。

計画策定や新規事業の検討のほか、既存事業の見直しなどにあたり、課題を把握し、市民の意見を反映させるため、積極的にワークショップを活用していただきたい。

■ R8 年度の開催について

【開催目的】

テーマに沿ってワークショップを開催し、今後の市政の参考とする

【開催回数】

年3回程度（各テーマ1回）

【開催時間】

1回につき90分程度

【スケジュール】

全庁への意向調査：2月9日（月）～2月27日（金）（予定）

開催テーマ決定：4月（予定）

開催時期：担当課の希望時期に実施

【その他】

- ・会場使用料及びファシリテーターへの謝礼は広報広聴課で支弁する。
- ・参集範囲や人数等については担当課と調整し、決定する。

【参考】これまでの開催テーマ、活用事例

【令和5年度】

- ・「10年後の青森市の未来」（青森市総合計画策定時）（企画調整課）

【令和6年度】

- ・「青森市のスマートシティを考えよう～便利で快適な10年後の青森市～」
（（仮称）スマートシティビジョン策定時）（企画調整課）
- ・「みんなで未来を育てるまちに」（青森市総合計画前期基本計画策定後）（企画調整課）

【令和7年度】

- ・「浪岡の未来について」（地域づくり振興課）
- ・「外国人観光客の街なか周遊に係る受入環境の整備促進について」（交流推進課）
- ・「あおり商品の販売促進について」（あおり商品支援課）